

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 10 月 23 日現在

機関番号：13201

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20K00363

研究課題名（和文）日中戦争期の湘西における知識人・高等教育機関の移動と文化的変容の研究

研究課題名（英文）A study on the movement of intellectuals and higher education institutions and cultural transformation in Xiangxi during the Sino-Japanese War

研究代表者

齊藤 大紀（Saito, Hiroki）

富山大学・学術研究部人文科学系・教授

研究者番号：70361938

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、日中戦争期における中国湖南省西部・湘西の文化的変容を研究したものである。湘西は、古来、漢族と苗族とが雑居する民族的な構成を持つ地域であった。また日中戦争期においては、国民党統治地区に属し、日本軍との戦闘の最前線となった地域でもあった。日中戦争期にあつては、多くの高等教育機関が雲南省の昆明などの地方都市に疎開した。その際には、多くが湘西を経由して、昆明に向かったのであった。湘西には、多くの知識人が流入し、高等教育や新聞発行などの状況が大きく変化したのである。本研究は、湘西における知識人の流入を検討し、さらに湘西出身の沈從文をはじめとする作家たちの湘西表象の変化を論じたものである。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究においては、これまで重点的に研究されてこなかった日中戦争期の湘西における高等教育機関および疎開知識人流入の状況を調査し、その状況が湘西という地域に与えた文化的変容について調査した。その結果、たとえば、中央政治学校学生であった劉漢源などの幅広い層の知識人が実際に湘西の苗族社会に足を踏み入れ、その現状と課題について調査を行っていることが判明した。さらに石宏規や石啓貴といった苗族知識人の形成についても新たな知見を得ることができた。

研究成果の概要（英文）： This study investigated cultural transformation in Xiangxi, western Hunan Province, China during the Sino-Japanese War. Since ancient times, Xiangxi has been an area with an ethnic composition of Han and Miao people living together. Also, during the Sino-Japanese War, it belonged to the Guomindang-controlled area and was the front line area in the battle against the Japanese army.

During the Sino-Japanese War, many higher education institutions were evacuated to local cities such as Kunming in Yunnan Province. At that time, many of them headed for Kunming via Xiangxi. Many intellectuals flowed into Xiangxi, and conditions such as higher education and newspaper publishing changed significantly. This study examines the influx of intellectuals into Xiangxi, and also discusses changes in the representation of Xiangxi by writers such as Shen Congwen, who was originally from Xiangxi.

研究分野：中国現代文学

キーワード：湘西 日中戦争 沈從文 錢鍾書 聞一多 苗族 高等教育機関の移動

1. 研究開始当初の背景

本研究は、1937～45年の日中戦争期における、湘西（湖南省西部）の移住知識人の動向について研究することを目的し、湘西社会全体の社会的、文化的変容を究明することを目的とする。

日中戦争期においては、多くの知識人が戦火を避けて延安・重慶・昆明に移住した。それらの知識人の動向については、重慶・昆明・上海・延安などにおける活動に着目して、研究がなされてきた。湘西は、戦火を避けるために、後に昆明で西南聯合大学となる長沙臨時大学や、国立師範学院、国立芸術専門学校、湖南大学などの多くの高等教育機関が一時移転し、また、数多の中学校・小学校なども移転して、初等から高等教育に関してかつてない充実を見せたのであった。

また著名なジャーナリストである馬星野は、中央政治学校新聞系の学生とともに芷江で国民党機関紙『中央日報』を一時発行するなどして、文化的な活況を呈し、社会的な変革が求められたのであった。このほか中央より移転したマス・メディアを数えるならば、あまりに数が多くて、かぞえきれぬほどである。

このことは、湘西という地方にあっても、部外者の未曾有の大量流入を意味し、社会が正負の両面で大きく変質したと考えられる。これが本研究の研究開始当初の背景である。

2. 研究の目的

1937年に日中戦争が全面化し、日本軍の中国大陸への侵攻が本格化すると、華北・華中・華南在住の知識人は、どこで生活するか、ひいては自身の将来について選択を強いられることとなった。北京などの日本軍占領地区や上海「孤島」地区に残留したのもあれば、国民党支配地区の重慶や昆明を目指した者もあり、また共産党支配地区の延安を目指した者もいた。これにともなって、歴史上稀に見る知識人の大移動が行われた。

本研究は、そのような時期である日中戦争時期の、知識人の湘西への移住とそれによる湘西の社会的、文化的な変容を解明することを目的とする。当時の湘西は、武漢や長沙が日本軍に占領されたこともあって、国民党統治地区の、いわば“最前線”とでもいうべき位置にあった。知識人たちの湘西への移住を究明することは、とりもなおさず湘西という一地方、日中戦争期という一時代に視点をすえて、中国における知識人の大移動の新たな一断面を明らかにすることが目的である。

湘西においては、北京大学・清華大学・南開大学の知識人が長沙臨時大学の所在地であった長沙から昆明へと疎開する際に湘西を経由し、聞一多・沈從文らと、沈從文の兄であり、地方知識人であった沈雲麓らとの交流が行われた。また長沙臨時大学学生であった劉兆吉による民歌採集や政治学校の学生であった劉漢源による地域社会の調査等が行われた。これらのことによって、中央から移転してきた知識人と地元の知識人とり間で文化的な交流が行われたとみてよいであろう。

また国立師範学院も藍田県に疎開し、錢基博・錢鍾書父子らが教鞭を執り、この経験は後に錢鍾書の小説『圍城』へと結実してゆくことになる。先にも述べた通り、中央政治学校の教授であり、後に南京『中央日報』社長となる馬星野も、沅陵・芷江と移転する中で、政治学校新聞系の学生とともに『芷江日報』を発刊するなどの文化活動を行った。このほかにも

湖南大学、国立杭州芸術専門学校と国立北京芸術専門学校が沅陵で合併した国立芸術専門学校などが湘西に移転した。

本研究では、第一に、日中戦争期を中心とする中華民国期に湘西において発行された新聞・雑誌を精査し、当時湘西に移住した知識人の湘西におけるネットワークと活動の軌跡を検証し、湘西の社会的、文化的変容を視野に入れつつ、彼らの文学的営為の意味を解明する。

3. 研究の方法

本研究の研究方法は次のとおりである。本研究においては、各知識人の年譜の調査はもちろんのこと、1930-50年代初頭の『湘西農村建設月刊』、『湘西綏靖週刊』、『湘西民教育』、『辺声月刊』、邵陽・芷江『中央日報』、洪江『西南日報』、沅陵『湘西日報』などの新聞・雑誌資料の調査を通し、湘西移住知識人たちのネットワークと湘西における文化活動を明らかにする。②『国立師範学院旬刊』、『国師季刊』などの大学発行雑誌、沅澧中学編『沅澧期刊』、湖南（国立）沅陵中学編『沅陵中学校刊』、湖南沅溪中学期刊編輯委員会編『沅溪学生』などの中学発行雑誌を通し、抗日戦争期における国内各大学および中学校の湘西への移転と現地知識人との文化的交渉を解明する。1980年代以降に発行された『湘西文史資料』などの地元発行の資料の調査を通し、二次資料も視野に入れつつ、移住知識人の動向と湘西の社会、文化的変容を解明する。それとともに国民党中央政府の支配下に組み込まれた湘西の変質を解明し、その文学的反映を明らかにする。

具体的な研究計画は、2019年6月に研究会（大阪）、9月に湘西および上海・北京における実地調査と資料収集、2020年6月に研究会（富山）9月に中山図書館（広州、資料所蔵調査済）・湖南図書館（長沙、資料所蔵調査済）にて資料収集、2021年6月に研究会（東京）9月に湘西での実地調査と吉首大学における成果報告、2022年3月に全体総括の研究会と報告書の作成を行う（大阪）

4. 研究成果

中国での資料調査や研究者間の交流に主眼を置く本研究にとって、新型コロナウイルス感染症の流行は、致命的なことであった。対面や出入国に制限が加えられたことによって、当初の目的を達成することが難しくなってしまった。しかしながら、逆にそのことによって、遠隔対面等の方法によって、研究メンバー間の連携を密にすることができた。このことによって、各メンバーの研究成果をただちに知ることができた。

また、これまで京都大学人文科学研究所（館外貸出不可、新型コロナウイルス感染症の流行下においては見ることもさえ不可能）にのみ所蔵されていた『湘西苗疆珍稀民族史料集成』（全34冊）などの貴重資料を購入し、研究の進展を図ることができた。新型コロナウイルス感染症の流行下において、国内外の図書館の閉鎖等が相次ぐ中、資料の充実を図ることができた。

さらに西南の諸民族を研究対象とする民俗学研究者や苗族の近代史に造形の深い東洋史学者など隣接領域との交流を行うことにより、知見を深めることができた。前者との交流によって、主に雲南省在住の少数民族に対する知見を深め、苗族等との比較により、新たな知見を得ることができた。後者との交流によって、当時の中国における民族運動とタイ・アップする形で苗族の民族運動・社会変革運動が盛り上がり、そちらの知識の獲得が強く求められていることが理解された。

また、研究期間を延長した最終年度においては、新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せたため、台湾における実地調査を行うことができ、国立台湾図書館や台北市立図書館などにおいて資料調査を行うことができた。

それらの結果、移住知識人による湘西の社会的、文化的変容のみならず、石宏規・石啓貴らをはじめとする苗族知識人の勃興による苗族社会危機の認識、文化的変容を視野に入れるべきとの結論に達し、以降の科研費の獲得につなげることができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計31件（うち査読付論文 19件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 齊藤大紀	4. 巻 37
2. 論文標題 穆時英『空閑少佐』論 東洋における非戦のエンターテイメントを目指して	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 名古屋大学中国語学文学論集	6. 最初と最後の頁 25-50
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 今泉秀人	4. 巻 972（
2. 論文標題 書評「言語の地層」を開く 游佩芸・周見信（作）、倉本知明（訳）『台湾の少年1-4』	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 260-265
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 73
2. 論文標題 不幸を嘆く女たち 予且「浅水姑娘」試論	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 日本女子大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 115-127
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 1
2. 論文標題 万太郎の戦時下上海への訪問と観劇：愛国劇『文天祥』をめぐって	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 慶應義塾大学『久保田万太郎と現代』編集委員会編『久保田万太郎と現代 ノスタルジーを超えて』	6. 最初と最後の頁 386-405
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 1
2. 論文標題 同時代小説としての中国文学と創作における日本語：『改造』『現代支那号』（一九二六年七月）について	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 松本和也編『翻訳としての文学 流通・受容・領有』	6. 最初と最後の頁 125-141
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 1
2. 論文標題 内山完造と第三回大東亜文学者大会：「二本建」の処し方	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 孫安石・柳澤和也編著『内山完造研究の新展開』	6. 最初と最後の頁 149-178
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 3618
2. 論文標題 内なる彷徨ときらめき 戦時下上海の編集者たち、山口早苗『日本占領期上海の文学とメディア』	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 図書新聞	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齊藤大紀	4. 巻 64
2. 論文標題 沈虎難さんと『虎難』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 トンシュエ	6. 最初と最後の頁 6-7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今泉秀人	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 沈従文『従文自伝』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草増刊号・中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 92-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今泉秀人	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 蕭乾『未帯地図的旅人』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草増刊号・中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 132-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今泉秀人	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 何兆武『上学記』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草増刊号・中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 182 - 183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今泉秀人	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 吳念真『這些人，那些事』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草増刊号・中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 244 - 245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 72
2. 論文標題 楊振声「荒島上的故事」における自死する少女	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本女子大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 55-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中野徹	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 包天笑『釧影楼回憶録』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草増刊号・中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中野徹	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 金岳霖『金岳霖回憶録』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草増刊号・中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 38-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中野徹	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 楊鍾健『楊鍾健回憶録』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草増刊号・中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 48-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中野徹	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 胡蘭畦『胡蘭畦回憶録』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草増刊号・中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 70-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中野徹	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 臧克家『詩与生活』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草増刊号・中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 106-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中野徹	4. 巻 増刊号
2. 論文標題 姚雪垠『姚雪垠回憶録』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 野草増刊号・中国20世紀自伝回想録解題集	6. 最初と最後の頁 134-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 1
2. 論文標題 中国留学生眼中的“日本”：郁達夫「帰航」与英国反日小説『和服』（Kimono）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 徐志民他著『団体与日常：近代中国留日学生的生活史』（北京：社会科学文献出版社）	6. 最初と最後の頁 211-236
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齊藤大紀	4. 巻 63
2. 論文標題 焼け跡で知る周作人、郭沫若、沈從文	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 トンシュエ	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齊藤大紀	4. 巻 484・485
2. 論文標題 屈原とリルのいる引き出し	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 中国文芸研究会会報	6. 最初と最後の頁 6-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 71
2. 論文標題 徐Xu「幻覚」試論 無名氏作品との関わりで見る感傷に浸る男たち・葬り去られる女たち	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本女子大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 95-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今泉秀人	4. 巻 106・107
2. 論文標題 教授作家 西南聯合大学の沈從文	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 野草	6. 最初と最後の頁 91-118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 76
2. 論文標題 大東亜文学者大会をめぐる交渉の力学 内山完造の関わりと二本建論	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 人文学研究所報	6. 最初と最後の頁 271-282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 齊藤大紀	4. 巻 1
2. 論文標題 隣はナニをする人ぞ 胡也頻「昨夜 一段供状」と民国期のオナニー論	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『夜の華 中国モダニズム研究会論集』	6. 最初と最後の頁 52-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 40
2. 論文標題 「美貌」というスティグマ 徐Xu『風蕭蕭』における美女表象	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 お茶の水女子大学中国文学会報	6. 最初と最後の頁 13-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 1
2. 論文標題 錢鍾書と呉Mi	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『文学の力、語りの挑戦 中国近現代文学論集』	6. 最初と最後の頁 87-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 1
2. 論文標題 無名氏『塔裡的女人』論 逆照射される男性性失墜の物語	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『夜の華 中国モダニズム研究会論集』	6. 最初と最後の頁 232-254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中野徹	4. 巻 1
2. 論文標題 「学匪」を駆逐せよ 国立青島大学の学生運動と聞一多	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『夜の華 中国モダニズム研究会論集』	6. 最初と最後の頁 110-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 1
2. 論文標題 青島興亡をめぐる民族意識と父の記憶 洪深の映画脚本「劫後桃花」を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『夜の華 中国モダニズム研究会論集』	6. 最初と最後の頁 148-173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計12件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件)

1. 発表者名 齊藤大紀
2. 発表標題 劉漢源『湘西屯田調査及巴県実習日記』について
3. 学会等名 青島・重慶・湘西科研合同例会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 齊藤大紀
2. 発表標題 教育部戦区中小学校教師第九服務団編『湘西郷土調査彙編』（1940）について
3. 学会等名 青島・重慶・湘西科研合同例会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 今泉秀人
2. 発表標題 ミャオ族幻想 沈從文と石啓貴
3. 学会等名 青島・重慶・湘西科研合同例会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 今泉秀人
2. 発表標題 呉濁流『アジアの孤児』に見る言語の地層
3. 学会等名 中国文芸研究会1月例会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 杉村安幾子
2. 発表標題 語らぬ少女の語るもの 楊振声「搶親」と『独立評論
3. 学会等名 国際シンポジウム「吼えるアジア：東アジアのプロレタリア文学・芸術とその文化移転1920-30年代」（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 杉村安幾子
2. 発表標題 徐Xu「旧神」に見る ミソジニー
3. 学会等名 青島・重慶・湘西科研合同例会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中野徹
2. 発表標題 漣yiの海 青島の閩一多と方令孺
3. 学会等名 青島・重慶・湘西科研合同例会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 モダニズムとしてのプロレタリア芸術運動と村山知義:築地小劇場から上海芸術劇社へ
3. 学会等名 国際シンポジウム「吼えるアジア:東アジアのプロレタリア文学・芸術とその文化移転1920-30年代」(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 青島モダニズムと黄瀛について
3. 学会等名 青島・重慶・湘西科研合同例会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 「杜子春」「山月記」の外へ:日中近代における交錯する眼差し
3. 学会等名 早稲田大学教育総合研究所研究部会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 洪深の映画脚本「劫後桃花」 1930年代文学の多様性
3. 学会等名 中国現代演劇研究会第27回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 杉村安幾子
2. 発表標題 「物語」の背後にあるもの 歴史的事実から虚構へ
3. 学会等名 第59回日本女子大学史学研究会大会
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計5件

1. 著者名 中村みどり	4. 発行年 2022年
2. 出版社 社会科学文献出版社	5. 総ページ数 370
3. 書名 団体与日常:近代中国留日学生的生活史	

1. 著者名 武田雅哉・加部勇一郎・田村容子編著（齊藤大紀・中野徹分担執筆）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 253
3. 書名 中国文学をつまみ食い 「詩経」から「三体」まで	

1. 著者名 王晴編（中村みどり分担執筆）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 上海遠東出版社	5. 総ページ数 420
3. 書名 日本漢学中的上海文学研究	

1. 著者名 中国モダニズム研究会（編）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 中国文庫	5. 総ページ数 450
3. 書名 夜の華 中国モダニズム研究会論集	

1. 著者名 宮尾正樹教授退休記念論集刊行会編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東方書店	5. 総ページ数 439
3. 書名 文学の力、語りの挑戦 中国近現代文学論集	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	今泉 秀人 (Imaizumi Hideto) (00263343)	大阪大学・大学院人文学研究科(外国学専攻、日本学専攻)・准教授 (14401)	
研究分担者	中野 徹 (Nakano Toru) (20610512)	近畿大学・文芸学部・准教授 (34419)	
研究分担者	中村 みどり (Nakamura Midori) (30434351)	早稲田大学・商学大学院・教授 (32689)	
研究分担者	杉村 安幾子 (Sugimura Akiko) (50334793)	日本女子大学・文学部・教授 (32670)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関